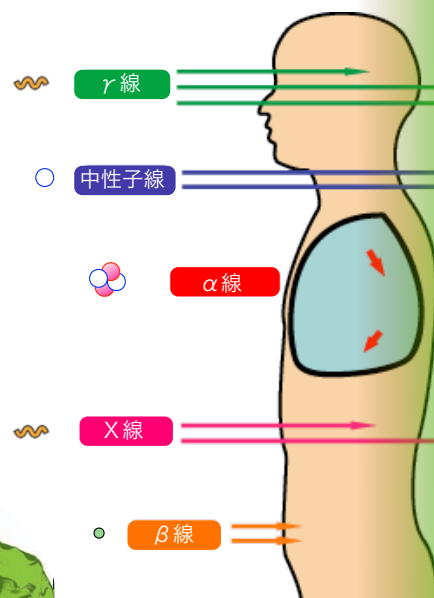


# 秋学期9月 Aセメスター 金曜5限 開講!!

## 主題科目学術フロンティア講義

# 放射線を科学的に理解する



金曜5限  
2015年9月18日開講!  
講義室: 21KOMCEE  
(West) K303

### 担当教員:

鳥居 寛之 (粒子線物理学) 《教養》  
小豆川 勝見 (環境分析化学) 《教養》  
渡邊 雄一郎 (生命環境応答学) 《教養》

### ゲスト講師:

坪倉 正治 《医科学研究所》  
芳賀 昭弘 《医学部附属病院放射線科》  
藤原 徹 《農学部 応用生命化学》

### 講義内容

- 9/18 ガイダンス/放射線入門【鳥居】
- 9/25, 10/9 放射線物理・化学【鳥居】
- 10/ 2 放射線計測学【小豆川】
- 10/16 放射線生物学【渡邊】
- 10/23 被曝調査・医療支援【坪倉】
- 10/30 原子核物理・原子力工学【鳥居】
- 11/ 6, 13 環境放射化学【小豆川】
- 11/24 放射線医療【芳賀】 (火曜振替)
- 11/27 放射性物質汚染と農業【藤原】
- 12/ 4 放射線の利用【渡邊】
- 12/11 加速器科学・放射線防護【鳥居】

福島第一原子力発電所の事故は、我々に大きな衝撃と影響を与えました。事故にともなって放出された大量の放射性物質が、広い地域で環境汚染を引き起こし、今なお人々を苦悩させています。放射線の話が連日マスコミを賑わせ、その影響について様々な議論が沸き起こりましたが、多くの方は放射線について深い科学的な知識を身につけないまま、人々の意識が風化を始めています。

わが国ではこれまで、放射線の基礎的知識に関する教育が十分になされず、科学的リテラシーの欠如が問題となっています。放射線を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律など様々な分野の知識が必要となり、全てを網羅することは容易ではありません。大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。

今期で5年目の実績をもつ主題科目「放射線を科学的に理解する」は、教養学部の3人の教員:鳥居・小豆川・渡邊を中心に、他キャンパスの専門家もゲスト講師に招いて開講し、熱意あふれる分かりやすい講義で理解が深まったと毎年高い評価を受けています。放射性核種や放射線の物理学的性質から環境汚染問題、そして医学的影響やリスクの考え方まで、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。

**対象:** 東京大学教養学部生 (1年2年 理科学科ほか)

東大教養 放射線 講義



検索

<http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/>

**連絡先** (担当 鳥居)

[torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp)

書籍(準教科書) 好評発売中!

「放射線を科学的に理解する」丸善出版



ご購入は  
生協書籍部でどうぞ